



JFA Academy KUMAMOTO UKI

JFA アカデミー 熊本宇城

2016

JFA エリートプログラム





常に（どんなときでも、日本でも海外でも）ポジティブな態度で何事にも臨み、自信に満ち溢れた立ち居振る舞いのできる人間を育成する。

日本サッカー協会では、2005年1月1日に、「サッカーを通じて豊かなスポーツ文化を創造し、人々の心身の健全な発達と社会の発展に貢献する」という理念を実現するために、『JFA2005年宣言』を行いました。その中で2050年までには日本でのFIFAワールドカップの開催と優勝という明確な目標『JFAの約束2050』を掲げました。また、その目標に向けて2030年までに達成すべき新たな目標として、2030年にはサッカーファミリーが800万人に、FIFAワールドカップに出場し続けてベスト4に、これらを達成するために世界でトップ3の組織になるという『JFAの目標2030』を設定しました。

私たちは、現代の日本であまり使用されることのない「エリート」という言葉を使っています。「エリート」という言葉は日本の中では抵抗感が強く、根付いて来なかった概念であり、誤解を招きやすい面がありますが、本来の意味を重視し、敢えて使用しています。本来、「エリート」とは特権階級を指すものではなく、社会の各分野でのリーダーであり、むしろ先頭に立って闘いに行く存在、社会に対する責任を果たす存在を指すものなのです。

私たちはサッカー界で、真の意味でのエリートとなる人材を育てたいと思っています。それがサッカーの場面でも必要とされる判断力やリーダーシップの向上に大いにプラスになると考えていますし、また、サッカー界あるいはそれを越えた社会で将来的にリーダーとなりうる人材を育成したいと考えています。リーダー不在、判断力不足は、現代の日本社会の大きな社会問題であるとも言えます。

サッカーという競技の特徴を把握した上で、子どもの発育発達の特徴を研究し、「長期的視野に立った育成」という観点から、それぞれの年代の特徴に最適な環境・指導を与えることが重要です。子どもは小さな大人ではなく、年齢に比例して一直線に成長していくわけでもありません。それぞれの年代にやるべきことをやって最終的な成長へと導いていくことが重要です。これは日本サッカー協会の育成の非常に大きなテーマです。

JFAアカデミーでは「世界トップ10を目指した個の育成」「世界基準を日常に」をキーワードとし、あくまでも個の育成を目的とします。ロジック形式により、能力の高い者に良い指導、良い環境を与え、長期的視野に立ち、集中的に育成しています。

また、サッカーはもちろん、人間的な面の教育も重視し、社会をリードしていける真の世界基準の人材、JFAのフィロソフィーでもある、常に（どんなときでも、日本でも海外でも）ポジティブな態度で何事にも臨み、自信に満ち溢れた立ち居振る舞いのできる人間の育成を目的とします。才能を持つだけでは、必ずしも開花するとは限りません。才能を持つ者に良い環境を与え、本人の努力を伴わせることにより、世界に通用する選手を育成します。「世界基準」で日本をリードし、サッカーのみならず、広くスポーツ界、社会全体に発信できる、トータルなリーダーシップをそなえた人材の育成を目指しています。



この5つの言葉の真の意味を自分の言葉で言える「自立した個人」を育成します。

世界トップ10を目指して！
ロジングによるエリート教育





▶宇城市立ふれあいスポーツセンター
(熊本県フットボールセンター)



▶クラブハウス



▶宿舎 (NPO スポーツアカデミー熊本宇城)

目的

「世界基準の個を育成する」

「世界基準」をキーワードとし、個の育成を目的とします。

ロジック形式による教育により、能力の高い者に良い指導、良い環境を与え、長期的視野に立ち、集中的に育成します。

また、サッカーはもちろん、人間的な面の教育も重視し、社会をリードしていける真の世界基準の人材、常に(どんなときでも、日本でも海外でも)ポジティブな態度で何事にも臨み、自信に満ち溢れた立ち居振る舞いのできる人間の育成を目的とします。

才能を持つだけでは、必ずしも開花するとは限りません。才能を持つ者に良い環境を与え、本人の努力を伴わせることにより、世界に通用する選手を育成します。

2

指導・サポート

(1) サッカーの面に関して

能力の高い選手に、良い環境で集中的に良い指導を与え、個の能力を高めます。

寮生活の中で、最高のトレーニング環境を与えます。

試合も重要な機会であり、公式試合活動に関しては、アカデミーではなく個々にチームに所属し、週末にはそのチームで試合の経験を積みます。

(2) サポート、環境面に関して

日本サッカー協会技術委員会、医学委員会等と共同し、メディカル、栄養、フィジカル、テクニカル等のサポート体制にて、より良い成長を促していきます。

心理的に不安定な時期に当たりますが、適切なサポート、刺激を与えることでドロップアウトを防ぐよう、対応を行います。指導担当者によるケア、カウンセリングに関しての体制も整えていきます。

(3) 教育面に関して

サッカーばかりではなく、人間的な教育、論理的思考、ロジカルコミュニケーションスキル、英会話等の総合的教育を行い、リーダー教育を重視します。

将来日本をリードする人材となる真の意味での「エリート」を育成します。



活動

(1) 生活に関して

：ロジング(寄宿制)+週末帰宅

宇城市立ふれあいスポーツセンター(熊本県フットボールセンター)に隣接する宿舎に寄宿して、トレーニング、総合的な人間教育を行います。

最適なスケジュールの中で、トレーニングおよび食事、休養、必要な学習をすることで、効果的な育成を行います。

週末は自宅に帰宅します。毎週末無理なく帰宅できる範囲からの子どもを対象としています。

■宿舎は共同生活を通じてコミュニケーション、交流、教育、学習、休養を行う場としてとらえています。

■家族が必要な年代に親元を離れることとなりますが、毎週末帰宅し、家庭生活に戻ることとします。日常生活全体の問題に関しては、学校と連携しながらサポートを行います。

また、アカデミースタッフ、学校、地域で協力しながら、十分なケアをすると共に、保護者との連絡を密にとり合い、協同しながら、選手一人ひとりにアプローチします。

■病気や怪我等が生じた場合は、アカデミーメディカルスタッフが中心となり、地元医療機関及び医学委員会との連携により、十分な医療体制をとります。

■夜間もアカデミースタッフが寮に同宿し、寄宿生活に関して責任をもって対応します。

施設概要

選手居室(6人部屋)、勉強部屋、ミーティングルーム、食堂、シャワールーム、メディカルルーム、選手ロッカー、ランドリーなど。

(2) 学校に関して

：地元の公立中学校

居住地の学区にある公立中学、宇城市立小川中学校に通学し、学校生活を送ります。中学生にふさわしい学校生活・社会生活を大いに重視しています。

(3) 学校以外の教育に関して

：JFAプログラム

真のエリートとして社会をリードしうる人材を育成するため、JFAプログラムとして、学校のカリキュラムとは別に、寮生活の中でさまざまなプログラムを行います。

特に、ロジカルコミュニケーションスキルの習得、語学、リーダー教育を重視します。また、スポーツ選手としてのパフォーマンスを高め発揮するためにおくるべき生活態度についても学習し実践していきます。

(4) チーム活動に関して

JFAアカデミー熊本宇城では、個の能力を高めるためのトレーニングを徹底して行いますが、チーム登録をしてチームとしての公式試合活動は行いません(トレーニングの一環としてトレーニングゲームを行うことはあります)。各自が個々にチームに所属し、毎週末には帰宅し、そのチームで活動します。

(5) 地元での社会生活に関して

親元を離れて寮生活を行い、地元の公立校に通い生活を送るに当たり、アカデミーの仲間ばかりで生活することは、この年代の子どもたちにあるべき姿ではないと考えます。そのため学校でのさまざまな活動はもちろん、地元や社会との交流を重視していきます。

地元、NPO法人スポーツアカデミー熊本宇城と協力しながら、子供たちが地域の活動や地元の生活に触れる機会(労作教育実習等)をつくっていきます。



トレーニングコンセプト

テクニック、判断力、持久力の向上と質の追求を目指します。JFAがこの年代でこそ身につけてほしいと考えることを、モデルとして実行しています。現代サッカーにおいて、育成年代で世界で言われているコンセプトです。

テクニック、判断力、持久力の向上 動きながらの技術、動きの習慣化、観る、判断する

(1) あくまでも個の育成を目標とします。

チームを強化することは目的ではありません。JFA アカデミー熊本宇城としては、チームとしての試合活動は基本的に行いません。個の育成の一環として、試合は必要であり、それに関しては、各自チームに所属し、週末帰宅時にそのチームにて試合を行います。

(2) 中学校3年間で、年代に即した育成、基本の徹底を行います。

各学年ごとにわかれてトレーニング活動を行います。

スタッフ体制 (2016年6月現在)



スクールマスター
井 薫
熊本県サッカー協会名誉会長



テクニカルダイレクター
島田 信幸
JFA 公認S級コーチ



チーフコーチ / U-13 コーチ
宮川 真一
JFA 公認A級コーチジェネラル



U-14 コーチ
須藤 啓太
JFA 公認B級コーチ
UEFA Aライセンス
スペインサッカー連盟レベル2



U-15 コーチ
小川 秀樹
JFA 公認A級コーチジェネラル
UEFA Aライセンス



GK コーチ
墨屋 孝
JFA 公認ゴールキーパーA級コーチ
公認A級コーチジェネラル



アスレティックトレーナー
大津賀 祐介
日本体育協会公認
アスレティックトレーナー
鍼灸あん摩マッサージ指圧師



JFA プログラム

▶ ロジカルコミュニケーションスキル

つくば言語技術教育研究所の講師による「聞く・話す・読む・書く」の言語トレーニングを通して、論理的に組み立てる思考力や分析力、人前で話す能力や議論をするための能力などを身につけます。これは日常での他者との会話に生かすだけでなく、一瞬の判断が求められるサッカーの試合中にも活用できるよう取り組んでいるプログラムです。



▶ ロジカルコミュニケーションスキル

▶ 労作体験

勤労・忍耐力・奉仕などの道徳的価値の育成を重視した、人間形成を行うプログラムです。稲作などの労作体験を通して、地域の方々との交流も大切にしています。



▶ 労作体験

▶ 英会話

世界で活躍できる人材育成の一環として英会話プログラムを導入しています。学年ごとの授業で、海外遠征など他国選手との交流時に活用できるよう取り組んでいます。



▶ 英会話

▶ 試合運営サポート

プロサッカーリーグの試合で、ボールパーソンや運営をサポートする役割を担います。多くのスタッフの支えにより試合が運営されていることを知る、またプロ選手を身近に感じることで自分の将来を強く意識するきっかけになります。



▶ 試合運営サポート

熊本県宇城市との協力体制により実現

日本サッカー協会「JFA2005年宣言」の趣旨に賛同した熊本県宇城市が、その約束の実現に向けて大きな担い手となるこどもたちのために、サッカーを通じて、「大きな夢を抱ける環境」を用意することが大人の使命であると考え、地域拠点の設立を決定しました。

地域の拠点として、若年層育成のフィロソフィーや方法を発信するとともに、ハード、ソフトの両面で地域のスポーツの発展に貢献・寄与することを主眼に置いた、JFAアカデミー熊本宇城開校の受け皿となるべく「NPO法人スポーツアカデミー熊本宇城」が設立されました。「JFAアカデミー熊本宇城」の招致を目指し、地元自治体（宇城市）の協力の下、県サッカー協会と協力体制を構築しながら開校に向け計画を進めてきました。

NPO法人スポーツアカデミー熊本宇城は「熊本県及び西日本地域におけるスポーツ活動の普及および振興を図り、スポーツを通してのまちづくり、地域活性化、人材育成に関する事業を行い、地域社会の貢献活動に寄与する」を実現（達成）するため、関係各団体等と連携を図りながら、地域拠点として、次世代を担うこどもたち

への一助となるべく役割を果たしていくことを目的としています。

JFAアカデミー熊本宇城の推進母体として活動しながらスポーツの普及を図り、寄宿舎建設を行いました。その施設を含んだ施設全体を熊本県フットボールセンターとして位置づけ、サッカーを通じたサービスを総合的に提供する拠点施設となります。拠点となる施設を整備することにより、県内外をはじめとした生涯スポーツの交流の場として、スポーツ人口が増大し、異業種間交流の橋渡しの役割（施設）となることが期待されています。

2016年からは、NPO法人スポーツアカデミー熊本宇城が、JFAアカデミー熊本宇城の運営を主体的に行っております。

地域の拠点として、また、日本を代表するエリート育成となる施設として、民間及び住民を含めた地域一体となって、スポーツを通じた「人づくり」による教育をおこない、「教育」から「共育」さらに「響育」へと波及していくような全国に先駆けた、モデルとなるような独自性・地域性を加味したものの構築を目指します。

トレーニング環境概要

●ピッチ

宇城市立ふれあいスポーツセンターの施設を利用して活動が行われます。

●指導体制概要

日本サッカー協会技術委員会委員、ナショナルトレセンコーチ等が全面的に協力し、指導していきます。

各学年には担任としてヘッドコーチが1人ずつつきます。

また、ゴールキーパーコーチ、アスレティックトレーナーが指導に当たります。

コーチングスタッフは宿舎にて選手達と生活をともにし、ピッチ内・外とも、スポーツ選手にふさわしい生活を身につけさせていきます。

学校とも連絡を密にとり、協同で選手達の指導、ケアに、万全の体制を整えて臨みます。

▼熊本県宇城市周辺地図



熊本県宇城市（人口6万1千人、面積189km²）は、九州の中央、熊本県のほぼ中央に位置し、九州の大動脈である国道3号と九州自動車道が南北に走り、西は天草、東は宮崎県への結節点という地理的条件に恵まれた、美しい田園風景と不知火海の文化に彩られた自然環境にある地域です。そして、熊本市と八代市の中間部にあり、都市的機能を併せ持つバランスのとれた水と緑と心豊かな地域です。九州各県へは、車およびJRにより、2時間以内で結ぶ交通体系が充実しています。熊本県宇城市は巻誠一郎選手や磯貝洋光氏など、日本を代表するサッカー選手を輩出した地域として知られています。

スケジュール

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日		
6:00	起床&清掃 朝食	起床&清掃 朝食	起床&清掃 朝食	起床&清掃 朝食	起床&清掃 朝食	所属クラブ での活動	所属クラブ での活動	6:00	
7:00	登校	登校	登校	登校	登校			7:00	
8:00	学校	学校	学校	学校	学校			8:00	
9:00 ↓ 15:00			下校					9:00 ↓ 15:00	
16:00	下校	下校	トレーニング (トレーニング マッチ)	下校	下校			16:00	
17:00		トレーニング		トレーニング	トレーニング			17:00	
18:00	夕食		夕食					18:00	
19:00	学習/ JFA プログラム	夕食	学習/ JFA プログラム	夕食	帰省			19:00	
20:00		学習/ JFA プログラム		学習/ JFA プログラム				帰寮	20:00
21:00								コンディショ ンチェック	21:00
22:00	消灯	消灯	消灯	消灯				消灯	22:00
23:00									23:00

○金曜日(又は祝日の前日)のトレーニング終了後に帰省(帰宅)し、週末は所属チームでの活動や家庭での生活を送ります。
○日曜日の夜に、アカデミーに帰寮します。

費用

アカデミーの活動には、入校手続き金(初年度のみ)と毎月の活動費が掛かります。

【活動費に含まれる費用】(抜粋)

- ・住居費、食費、水道光熱費 ・トレーニング用品
- ・傷害保険費用 ・JFA プログラムに係る費用
- ・アカデミー事業/活動に係る経費 等

【活動費に含まれない費用】(例)

- ・中学校に係る費用(制服、学用品、給食費、教材費等)
- ・帰省(帰宅)に係る費用 ・登録するチームに係る費用 等

(参考) 中学校

- ・年間経費/約 140,000 円(文科省「子どもの学習費調査」より)
- ・制服等/約 48,000 円

活動費の減免に関して

入学者の家庭の経済的状況や事情の変化により、アカデミーに支払う活動費に対する救済(減免)を行う場合があります。

費目	納入期	初年度	2年目以降
入校手続き金		150,000円 (分納/1月&3月)	-
活動費 (住居費、食費・水道光熱費等)		月額80,000円	月額80,000円
合計(年間)		1,110,000円	960,000円

進路に関して

JFA アカデミー熊本宇城は、中学校3年間のプログラムです。

3年間で、さまざまな理由によりハイレベルのトレーニングの継続が困難になる場合も想定されます。その場合は個々のケースに応じて、選手本人にとって最も良い方法を、本人、家族、所属チーム、学校、指導者との協議により検討し、判断します。

高校への進学、チームの決定に関しては、本人、保護者、所属チーム、学校と協議し、本人にとって最も良い選択を共に行っていきます。

卒校生進路一覧

※進路先は卒校時

JFA アカデミー福島
アビスパ福岡ユース
浦和レッズユース
ヴィッセル神戸U-18
鹿島アントラーズユース
京都サンガF.C.U-18
サンフレッチェ広島F.Cユース
清水エスパルスユース
ファジアーノ岡山U-18
V・ファーレン長崎ユース
熊本学園大学附属高等学校
熊本県立大津高等学校
熊本県立熊本商業高等学校
熊本県立熊本農業高等学校

熊本県立第二高等学校
熊本国府高等学校
秀岳館高等学校
東海大学附属熊本星翔高等学校
九州産業大学附属九州高等学校
筑陽学園高等学校
東海大学附属第五高等学校
東福岡高等学校
佐賀県立佐賀東高等学校
鎮西学院高等学校
長崎総合科学大学附属高等学校
大分県立中津南高等学校
日章学園高等学校
鹿児島実業高等学校

神村学園高等部
福島県立ふたば未来学園高校
鹿島学園高等学校
前橋育英高等学校
埼玉県立いずみ高等学校
帝京長岡高等学校
静岡市立清水桜が丘高等学校
滋賀県立草津東高等学校
京都橘高等学校
立命館宇治高等学校
啓明学院高等学校
立正大学淞南高等学校
広島県立吉田高等学校
高川学園高等学校

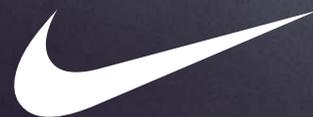
在校生所属チーム (2016年6月現在)

アルバランシア熊本
ソレソン熊本
太陽SC 熊本
太陽SC 熊本玉名
ブレイズ熊本
ロアッソ熊本
FCK マリーゴールド天草
FCK マリーゴールド熊本
UKI-C.FC
油山カメラリアU-15
川崎FC
筑後FC
ルーヴェン福岡
フットボールクラブ
FCソレイユ
VALENTIA FC
Vファーレン長崎
カティオーラFC

TIERRA FC
セレソン都城FC

プログレッシブ日向FC
FCアララ鹿児島





NIKE FOOTBALL APP

もっと上手くなりたいキミへ
未来のジブンをここから掴みとれ



iOS, Android対応 / ダウンロード無料

CRISTIANO RONALDO

© 2016 NIKE All Rights Reserved. Nike Japan 0120-4453-77

■飛行機 (熊本空港から)
 【宇城市直行高速バス】
 熊本空港～宇城市 (約35分)
 【路線バス】
 熊本空港～熊本交通センター～
 九州産業松嶺営業所 (約90分)

■自動車 (九州自動車道松嶺ICまで)
 福岡ICから (75分)
 鹿児島ICから (100分)

■バス (熊本駅～宇城市内の各駅まで)
 三角駅まで (55分)
 松嶺駅まで (15分)
 小川駅まで (20分)

■バス (熊本交通センターから)
 九州産業松嶺営業所まで (50分)

宇城市(うきし)は
「JFAアカデミー熊本宇城」を
ホスピタリティ
 (心のもったおもてなし)
で応援!

未来に輝くフロンティアシティ・宇城

宇城市長 守田 憲史

NPO法人
スポーツアカデミー熊本宇城

Supporting the first steps towards your DREAM.
 ～夢への第一歩をサポート!～

わたしたちの活動で
 スポーツを通じて、将来活躍する
 「九州っ子」を育てよう!

わたしたちは「JFAアカデミー熊本宇城」をサポートしています!

随時、会員募集中!
 ご不明な点等ございましたら、お気軽にご連絡ください。

〒869-0606 熊本県宇城市小川町河江52-1
 事務局 0964-31-7037又は090-4992-0322

お問い合わせ先

JFA アカデミー熊本宇城
 (宇城市立ふれあいスポーツセンター内)

〒869-0606 熊本県宇城市小川町河江52-1
 TEL. 0964-47-5880 / FAX. 0964-31-7036
 対応時間帯: 祝祭日を除く月曜～金曜 10:00～17:00

公益財団法人 **日本サッカー協会**

〒113-8311 東京都文京区サッカー通り JFAハウス
 公益財団法人 日本サッカー協会 JFA アカデミー事務局
 TEL. 03-3830-1890 / FAX. 03-3830-1814
 対応時間帯: 祝祭日を除く月曜～金曜 10:00～17:00